

WEBサイトのバリアフリー対策 どれくらいできていますか？



- アクセシビリティを向上させたいけれど、**まず現状を正しく把握したい**
- **社会情勢に即した充分な対応**が取れているか、専門家の目で確認してほしい
- 最新技術を利用しているが、アクセシビリティに不安がある
- アクセシビリティの重要性を、決裁者や外部制作スタッフなど担当者以外にも理解してもらう必要がある
- 組織内において、アクセシビリティへの意識を高めたい

Webサイトのアクセシビリティについて、専門家による診断を行い、どの箇所にどのような問題があるか具体的に指摘いたします。

スマートWEB診断

15万円～

Point 1 診断結果が出るのが早い！

ご依頼いただいて、2営業日で診断結果をお届けします。

Point 2 安くて充実したレポート！

優先度の高い診断箇所に絞ることで低価格で価値ある診断をします。

Point 3 現状を把握するのに最適

本格的な診断は、十分な対策と改修を行ってから実施することをお勧めします。

VS

一般的なJIS-8341診断

80万円～

検査ページ数が多い（40ページ）かつ、検査項目が多いため実施から完了まで**4～5週間**かかります。当然、その分の作業工数がかかるため、**相場は80～100万円**となります。現状を把握するというより、JIS-8341に対応すべく構築したウェブサイトについて、その対応状況を保証するために行うケースに使われます。

サービス詳細

	ライトプラン	スタンダードプラン	アドバンスプラン
サービス料金 (税抜)	8万円	15万円	24万円
検証方法	自動判断のみ	自動判断+人判断	自動判断+人判断
検証範囲	10ページ	10ページ	10ページ
検査項目数	11項目	39項目	59項目
報告内容	問題個所の指摘と解説	問題個所の指摘と解説	問題個所の指摘と解説
納品期間	受注後1営業日	受注後2営業日	受注後3営業日
報告会	メール・電話でご説明	メール・電話でご説明	報告会を実施

検査項目リスト

知覚可能	テキスト代替	非テキストコンテンツ (9)
	適応可能	情報及び関係性 (9)
		意味のある順序 (2)
		感覚的な特徴 (1)
判別可能	色の使用 (3)	
	テキストのサイズ変更 (4)	
	画像化された文字 (1)	
操作可能	十分な時間	調整可能な制限時間 (6)
	発作の防止	3回の閃光又は閾値以下 (3)
	ナビゲーション	ブロックスキップ (1) 複数の到達手段 (1)

理解可能	読みやすさ	ページの言語 (1)
	一部分の言語	部分的に用いられている言語 (1)
	予測可能	一貫したナビゲーション (1)
		UI・コンポーネント状況変化 (2)
入力支援	入力エラー箇所の特定 (2)	
	ラベル又は説明 (2)	
	入力エラー修正方法の提示 (3)	
堅牢性	互換性	構文解析 (5)
		プログラム解釈可能 (2)

※ () 内の数値は、検査項目数

上記検査項目は、ウェブアクセシビリティの事実上の国際標準であるW3Cの発行したWeb Content Accessibility Guidelines (WCAG) 2.0と協調し、ISO/IEC 40500:2012と一致規格したJIS X 8341-3より抜粋した検査項目です。

ウェブアクセシビリティとは？

「ウェブアクセシビリティ」とは、一言で言えば「ウェブサイトのバリアフリー対策」です。高齢の方や、障がいをお持ちの方に、様々なデバイスで閲覧・利用していただける環境を言います。近年では「高齢者・障がい者」対応はもちろんのこと、「基本的なマルチデバイス対応」といった面が強く意識される傾向にあり、スマホやタブレット、将来的なウェアラブル端末の普及に伴うアクセス手段多様化への対策といえます。

2016年4月1日に「障害者差別解消法」が施行され、公的機関や公共性の高い企業では、ウェブサイトのアクセシビリティ対応が強く求められています。

当社では、2016年に改訂された「JIS X 8341-3:2016」準拠を基本としたウェブ (Web) アクセシビリティをベースに重要度の高い項目を限定して、リーズナブルで現状把握にぴったりなサービスを提供しています。